

一緒に力伸ばそう

支援学校生と大学生 清掃など体験学習

府立高槻支援学校高 目指す大和大教育学部
等部の生徒と、教職を の学生が14日、卒業後



大和大学の学生（左）と一緒に清掃活動をする府立高槻支援学校の生徒。吹田市の大和大学で

を見据えて互いの職業スキルを高めようと、吹田市片山町2の同大学で清掃などの体験学習をした。

障がい児教育に詳しい同大学教授で広島大名誉教授の落合俊郎さんらが中心になって企画した。支援学校生にとっては、校外での体

験を積むことでコミュニケーション能力や社会適応力を高めることにつながり、大学生にとっては介護の対応を学ぶ機会となる。

この日は、支援学校高等部1年生14人と同大学教育学部2年生11人が3班に分かれて、約2時間にわたって廊下や教室の掃除を一緒にした。

支援学校の野口美琴

毎日新聞社見学

受付06-6334684003

日産労連

エルダークラブ

日産労連エルダークラブ北大阪地区の会員25人が15日、見識を深めるため毎日新聞大阪本社を訪れた。編集局や印刷工場などを見て



回り、刷り上がったばかりの夕刊を手にした。写真。

さん(16)は「掃除のやり方を大学生から優しく教えてもらった」と話す。落合教授は「障がいのある人がキャンパスに来ることで、大学関係者の意識も変わる」と指摘していた。

【遠藤哲也】